

2018年11月2日

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 森喜朗会長殿

担当：総務局総務部総務課

福島にフタするな！五輪を返上する会
連絡先：目黒区南 1-24-14 Tel03-6662-8205
反原発☆反失業リサイクルショップたみとや
富田剛・直子

オリンピック返上にかかる質問状の送付について

先般10月29日午後1時から虎ノ門ヒルズ内で実施したオリンピック組織委員会総務局との面談を踏まえて、添付のとおり質問状を送付申し上げます。

については、当該面談の際に了承頂いたように、2018年11月末日までに、当該質問状への回答とその理由について、書面にて提示いただくように申し入れる。

添付文書「オリンピック組織委員会会長宛 質問状」(2ページ)

以上

質問状

私たちの要求はただ一つ、**2020年オリンピック・パラリンピック東京大会**の開催を中止することです。この要求どおり返上するのであれば、本質問状にお答えいただくとも構いません。

ただし、返上しないのであれば、以下の質問に必ずお答えください。

大会組織委員会(以下、組織委)として、都民及び国民に多大な犠牲を強いるイベントを運営する以上は、我々の不満に耳を傾け、また疑問に対して責任をもって答える義務があるからです。そして、結果として我々の不満・疑問をすべて解消させることができたなら、それはあなた方組織委にとっても大変有益なはずですよ。

真摯な対応を期待します。なお、回答期限は11月末日とさせていただきます。

(質問事項)

1. 2020年東京五輪は、『復興五輪』であるとされています。そうであれば、福島県はじめ東北、関東地方が安全になったことを世界にアピールするためにも、聖火リレー、五輪競技や関連イベントが行われる全施設・道路および、空港、選手村、駐車場等にモニタリングポストを設置し、また各選手団にガイガーカウンターを配布して、選手・観客にその目で放射線量を確かめてもらうべきだと思います。それができないのであれば『復興五輪』は嘘になりますし、復興していないのであれば五輪自体開催するべきではありません。設置・配布はしますか？ 設置・配布をしないのであればその理由は何ですか？
2. 福島から聖火リレーが出発し、県内で競技を行うことは、選手・観客を無用な被曝にさらす行為であり、不安と怒りの声がずっと続いています。聖火リレーのコース、福島で予定される競技開催場所の変更をしますか。変更しないのであればその理由は何ですか？
3. 2020年東京五輪招致に際して、安倍晋三首相は、「原発事故の影響はコントロールされている」と演説しました。今現在、組織委はこの認識を共有していると考えてよろしいでしょうか？

4. 東京都内各地に、ホットスポットと呼ばれる、局地的に放射線量の高い地域があります。こうした地域を 2020 年東京五輪開催までに、組織委として除染する予定はあるのでしょうか？ 除染しないのであればその理由は何ですか？
5. 真夏の開催となる 2020 年東京五輪の間中は、猛暑が予想されます。組織委は選手や観客に対して安全を保障できるのでしょうか？また、ただでさえ病床や救急車が不足している中で、仮に選手や観客が次々に倒れるといった事態が発生した場合、対策はどのように対応しますか？
6. 2020 年東京五輪の競技中に、気温が高温になり、あるいは光化学スモッグが発生した場合、従来どおり注意報・警報を発令しますか？ そして、速やかに競技を中止しますか？
7. 2020 年東京五輪では、医療を含む多くの業務がボランティアによって担われます。しかし、大会組織委員会の幹部の年間報酬が 2400 万円に上るといわれる一方で、ボランティアに支払われるのは一律 1000 円の交通費のみです。この偏った分配を見直すつもりはありますか？ 見直さないのであればその理由は何ですか？
8. 現在、シングルマザー、滞日外国人をはじめ、非正規労働者の家庭などで、貧困のために、部活などのスポーツができない非常に多数の子どもたちがいます。学校で「スポーツの素晴らしさ」を教えるオリ・パラ授業の主要な項目として、そのような社会の現状と対策を取り入れますか？

以上

2018 年 11 月 2 日

福島にフタするな！五輪返上を求める会
連絡先：反原発☆反失業リサイクルショップたみとや
富田剛・直子方
〒152-0013 目黒区南 1-24-14 TEL 03-6662-8205